

いちご栽培管理 (R2.5.)

(有) 丸 富

4月は日中の気温が上がったものの、朝晩は比較的冷たく、収穫には適した天候だった。三寒四温で暖かくなった。時々、前線を伴った低気圧が通過する際、暴風雨があり、全体的に風が強く、天気は激変した。

親苗管理

ランナーの発生が少ない時は、新月頃に液肥の灌注と葉面散布で、ランナーの発生を促進する。

ランナーの発生促進に**天地の恵み 500倍**(又は**バイオシャイングリーン 500倍**)と**サンミネーラ**(又は**シリカアップ**)**10,000倍**を数回、灌注(散水)する。

苗の病害対策

病害の多くは育苗期からの持ち込みが原因だから、健全な苗の育成で病害を減少する。

健全な苗の育成に**ハイプロ2袋/m**を育苗培土に混ぜる。その後、微生物の活性を促進するように**天地の恵み 1,000倍**と**天然ミネラル 1,000倍**をポット土に散水(灌注)する。

害虫対策

暑くなると、ダニ、スリップス、その他害虫が繁殖拡大する。事前の対策と予防が大切。

害虫対策に水7ℓに**バイオアクトJS 250cc/10a**を混ぜて、蒸散器で**1日1ℓ**を蒸散させて忌避する。忌避による事前対策に**バイオアクトTS 50~70cc/10a**を3~5日毎に灌水する。

徒長抑制

葉が混み合うと次第に軟弱徒長する。灌水時に微量要素資材を混ぜて、茎葉の徒長を抑制する。

徒長抑制に**酸カル 100cc/10a**と**サンミネーラ 50cc/10a**と**シリカアップ 100cc/10a**を灌水する。

軟果対策

果実温度が上がると、柔らかくなるので、果実が冷たいうちに収穫する。できる限り冷やす。

軟果対策に**サンミネーラ 1,000~2,000倍**と**酸カル 1,000倍**を適宜散布又は**各 100cc/10a**灌水する。

追肥(液肥)

少量多回数で灌水、散水する。施用量は土質、樹勢、環境などによって加減する。

プロ液肥	0.5~1ℓ/10a	} 5~7日毎に灌水する場合 ※状況に応じて加減する
時を越えた贈り物(又は天地の恵み)	100~200cc/10a	
サンミネーラ	50~70cc/10a	
バイオアクトTS	50~70cc/10a	

※サンミネーラの代わりに、シリカアップ 100~150cc、天然ミネラル 150~200cc、海藻のエキス 50~100gでもよい。

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富

TEL (0942) 65-0123

FAX 0942-65-1091 (24時間受付)

携帯 090-3328-7603 (富松まで)